

K E
気

SGH 通信

K O H
高

海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 1 4 号 平成 2 9 年 1 2 月 2 2 日 発行

【大阪府立能勢高校との交流会を行いました】



互いの研究を紹介

1 1 月 5 日（日），本校で大阪府立能勢高校（SGH指定校）との交流会を実施しました。能勢高校からは生徒 3 名，本校からは生徒 4 名が参加。今回，能勢高校の国内研修グループが「森は海の恋人」研究所を訪れるため，同所でフィールドワークを行っている本校生との交流が実現しました。両校の紹介の後，互いの研究活動の紹介や同所の活用方法などについて情報交換を行いました。能勢高校の環境保全に対する熱い思いに触れることができた貴重な時間となりました。

【課題研究 I <講演会 II・講演会 III> を実施】

1 1 月 2 0 日（月），東北大学大学院生命科学研究科の酒井聡樹准教授から創造類型の生徒に，研究の意義やまとめ方について講演をしていただきました。また，夕方からは本校教員と市内小中学校の 5 名の先生方を対象に，課題研究指導に当たる上でのポイントをご教授いただきました。



酒井先生の講演会

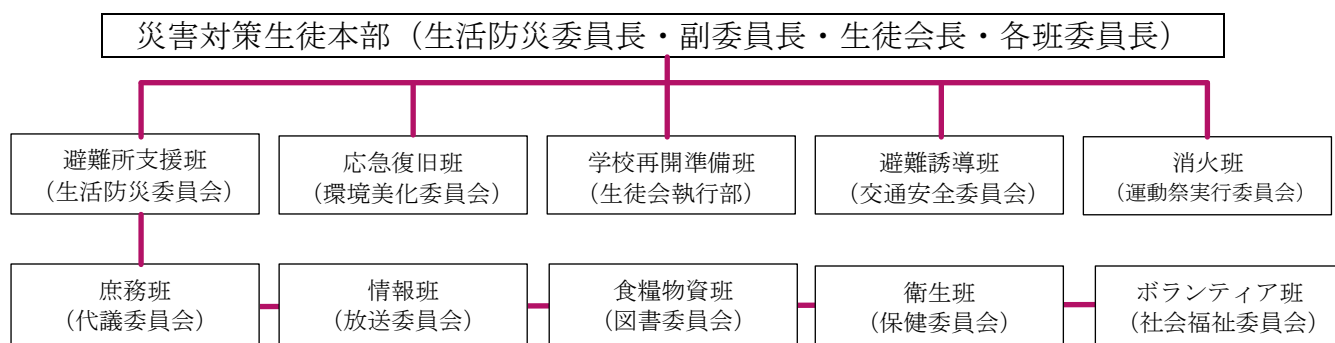
1 2 月 2 0 日（水）には，気仙沼市内の株式会社 菅原工業 代表取締役専務 菅原渉氏においでいただき，「気仙沼から世界への挑戦」と題して講演をいただきました。地元に戻ってきた経緯や今取り組んでいる事業の意義など，地方から世界にアクセスするモデルケースについて学びました。また，菅原工業で働いているインドネシア出身の技能実習生 4 名にもおいでいただき，日本に来て技術を学ぼうと思った理由などをお話していただきました。講演会 III は地元新聞の三陸新報にも 1 2 月 2 2 日（金）に記事として掲載されました。



技能実習生との交流

【秋季防災訓練を行いました】

1 1 月 1 0 日（金），午後の 2 時間を使い秋季避難訓練を実施しました。今年度は避難行動の後，委員会ごとに役割を分担し，実際に避難所の設営訓練を初めて行いました。第二次（避難後）災害対策生徒本部組織図は以下の通りです。



【フィールドワーク・国際理解セミナーを実施】

12月16日（土）、1学年「地域社会研究」と2学年創造類型「課題研究Ⅰ」のフィールドワークを行いました。県内の大学、市内の企業やNPO法人、市内での街頭調査など多方面に分かれ、班及び個人ごとに情報収集を行いました。

また、海外の情報を収集する班には校内で国際理解セミナーを開催。気仙沼市地域づくり推進課の村上伸子様のご協力により、気仙沼市内に住むアメリカ、ロシア、中国、フィリピン、グアテマラ、ベトナム出身の方々と交流することができました。外国の文化や習慣を学ぶとともに、インタビューやアンケートを実施し、研究へのヒントを得ていました。



東北大学女川FC



宮城大学



国際理解セミナー

【いろいろな発表会に参加しました】

① 2年生人文類型・理数類型の代表生徒による課題研究発表会：11月11日（土）

10月に行われた分野別発表会で1位に輝いた14チーム（SGH通信13号で既報）が一堂に会し、第1体育館にてスライドによる発表を行いました。

② 三高GSフェスタ：11月11日（土） 仙台第三高校

1年生2名、2年生9名が参加しました。口頭発表、ポスター発表の他に国際交流・サイエンスカフェ・学校文化紹介なども開かれ、県内SGH・SSH指定校など課題研究活動に取り組んでいる多くの高校生や留学生と交流を深めることができました。

③ 「地域社会研究」中間発表会：11月15日（水）

本校と気仙沼西高校の1年生が5領域7会場に分かれてスライドによる中間発表会を行いました。アドバイザーとして大学から先生方をお招きし、テーマ設定、データの活用、仮説の立て方・検証方法などを丁寧に教えていただきました。

④ 気仙沼市海洋教育実践発表会：11月17日（金） 気仙沼中央公民館

気仙沼市内の海洋教育拠点校に指定されている幼稚園・小中学校、高校からは本校と気仙沼向洋高校が参加しました。本校からは2年生4名が参加し、司会やポスターセッションの説明など発表会運営の経験をさせていただきました。

⑤ SGH全国高校生フォーラム：11月25日（土） パシフィコ横浜

今年度初めて開催されたフォーラムです。全国のSGH指定校が集い、研究成果を英語で発表しました。2学年創造類型から2名が参加し、「"What we can do in order to invite people into Kesenuma"-Appropriate occasions and activities-」というテーマで発表しました。

⑥ 東北大学大学院教育学研究科主催シンポジウム：12月9日（土） 東北大学

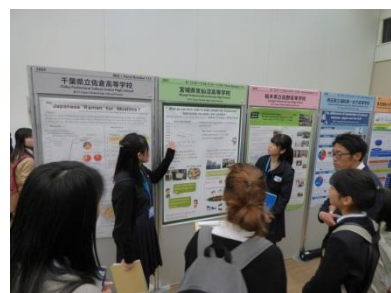
“Sチル（東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室）”主催の第9回シンポジウム「東日本大震災後の子ども支援～高校生・大学生が見つめる被災地の現在～」で2名の生徒が気仙沼の防災における課題について研究成果を発表しました。



① 課題研究発表会



③ 1学年中間発表会



⑤ SGH全国高校生フォーラム